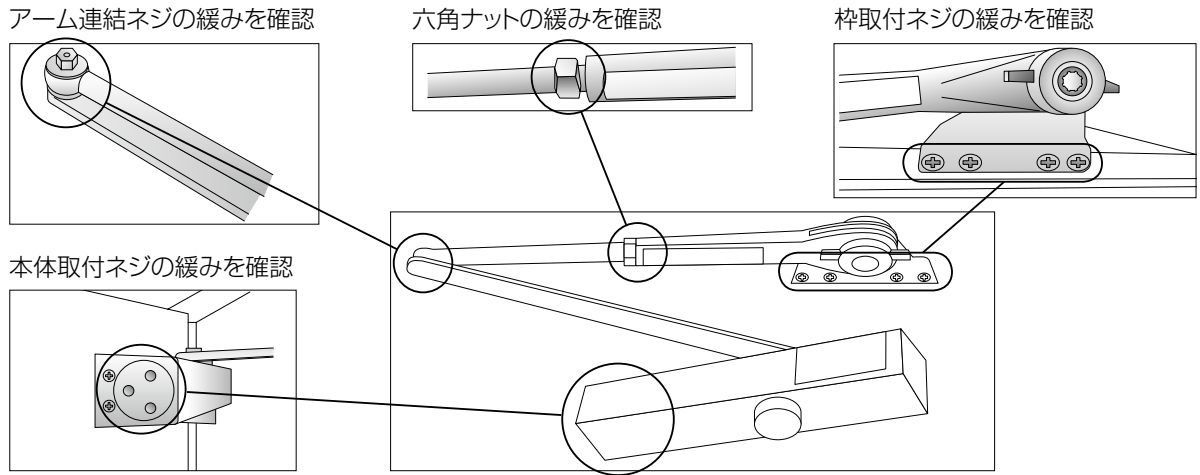


(6) ネジ緩み箇所の点検

各部のネジが緩んできた場合にはドライバーおよび、付属品のスパナで締め直してください。



4 把手(ハンドル)の操作

☆鍵を紛失した時は、防犯の為、シリンダーの交換をおすすめします。

- ①ノブハンドル ノブを左右に回して、ドアを開閉させてください。
- ②レバーハンドル レバーを下に回して、ドアを開閉させてください。
- ③バーハンドル 把手(室外)を引き、把手(室内)を押してドアを開閉させてください。

①ノブハンドル



②レバーハンドル



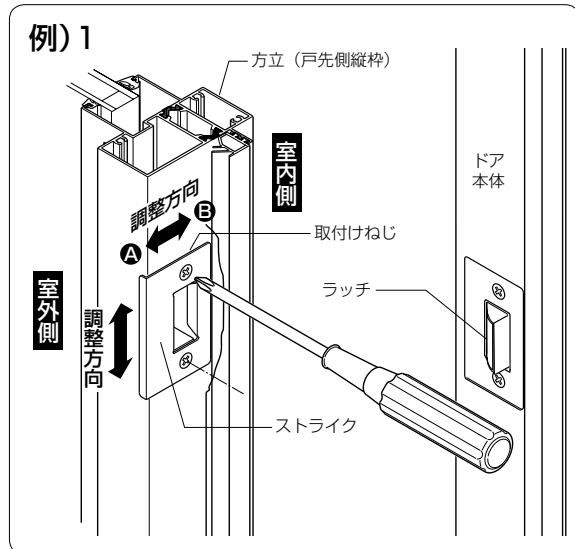
③バーハンドル



5 ストライク(ラッチ受部、デッドボルト受部) ※商品によって装備されているものが異なります。

お願い

- ストライク取付けねじを全部外さないでください。トロヨケが脱落し、取付けられなくなります。
- ドアのラッチがかからない場合は、ストライクの取付けねじを緩め、ストライクの位置を調整してください。調整後は確実にねじをしめてください。



- ▲ 方向：ラッチがかからない場合
- 方向：ドア本体がガタツク場合

例 2

- ①ストライク取付けねじをゆるめ、ストライクA(表板)を動かして調整してください。(図-1)室外側に3mm、室内側に1.5mm動きます。
- ②ストライクAで調整しきれない場合は、ストライクA・B(表板+裏板)ごと動かして調整してください。(図-2)さらに室外側へ2mm動きます。(合計5mm動きます)

